



ふるさとを思い、歌う。

CLOSE UP
大村人

東京を拠点に活動しているシンガーソングライターの大村人さん。長崎の街並みや哀愁、そして日々の暮らしの中で出会う感情を正直にシンプルに歌い上げます。

大学進学をきっかけに上京した草野さん。卒業後、草野さんの歌声が音楽関係者の目に留まり、歌手の道へ。その後、3年の間に2枚のアルバムをリリースしました。しかしある日、事務所の社長が体調を崩し地元へ帰ることになり、草野さんは東京に「人取り残されること」に。「前に進まなければいけません」と草野さんは歌を続けることを決意。長崎に戻り、3カ月間、必死の営業を始めます。「県内の行政やラジオ局、テレビ局、一般の企業もまわり必死に売り込みました。」と、草野さんは当時を振り返ります。

再度上京したところ、さだまさしさん率いる「さだ企画」の会長、佐田繁理さんと出会います。それをきっかけに、コンサート「長崎から東北へ」に出演。「さだ企画」の一員として、今では全国で活躍されています。

草野さんは、「ふるさと大村を思っ歌詞を書くことが多い。特に『時代』という曲は、大村や地元の人へ思いを込めました。」と、ふるさとへの思いも忘れていません。誰もが時に、不安や孤独、悩みを持つ中で、少しでも人の心を支えるような歌を作りたい。夢は大先輩さだまさしさんのように、長崎を代表するシンガーになることです！と意気込む草野さん。その熱い歌声でふるさとの期待に応えるため、地元を盛り上げるため、前に進み続けます。



Profile

くさの・じん
昭和60年7月24日、三浦地区の今村町に生まれる。玖島中卒。日本大学卒業後、インディーズデビュー。主にフォークソングに影響を受け、ギターとハーモニカスタイルで歌う。現在は、異例の抜擢で「さだ企画」研修生として、全国のコンサートなどに出演。東京都在住。31歳。

シンガーソングライター

草野 仁さん



クローズアップ

大村人

vol.22

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人、を紹介していきます。